

検討を要する指標について

【例示1】指標 No.5 「高血圧の改善(40～89歳)(収縮期血圧の平均値)(血圧の服薬者含む)」

| 時期 | 策定時 | | | | 中間評価時 | | | | 最終評価時 | | | |
|---------------|---|-------|---------|-----|---|-------|---------|-----|---|-------|---------|-------|
| 出典 | 健康づくり道民調査 (H23年度) | | | | 健康づくり道民調査 (H28年度) | | | | 健康づくり道民調査及び道民歯科保健実態調査 (R4年度) | | | |
| 調査方法 | 身体状況調査 (実測値) | | | | 身体状況調査 (実測値) | | | | 書面調査 (自己申告値) | | | |
| | | 総数 | 男性 | 女性 | | 総数 | 男性 | 女性 | | 総数 | 男性 | 女性 |
| データ数 (人) | 40-49歳 | 132 | 47 | 85 | 40-49歳 | 148 | 62 | 86 | 40-49歳 | 341 | 148 | 193 |
| | 50-59歳 | 242 | 99 | 143 | 50-59歳 | 163 | 71 | 92 | 50-59歳 | 393 | 193 | 200 |
| | 60-69歳 | 369 | 161 | 208 | 60-69歳 | 332 | 152 | 180 | 60-69歳 | 466 | 215 | 251 |
| | 70歳以上 | 356 | 182 | 174 | 70歳以上 | 379 | 185 | 194 | 70歳以上 | 608 | 200 | 408 |
| | 総数 | 1,099 | 489 | 610 | 総数 | 1,022 | 470 | 552 | 総数 | 1,808 | 756 | 1,052 |
| 収縮期血圧の 平均値 | | 男性 | 138mmHg | | | 男性 | 136mmHg | | | 男性 | 129mmHg | |
| | | 女性 | 134mmHg | | | 女性 | 130mmHg | | | 女性 | 125mmHg | |
| 備考 | 調査地区の中から、調査への協力に同意した人が対象。身体状況調査会場にて血圧の測定を行っている。 | | | | 調査地区の中から、調査への協力に同意した人が対象。身体状況調査会場にて血圧の測定を行っている。 | | | | 過去1年間に、健診や人間ドックを受けたことがあると回答した人が対象。健康診断時の結果を申告いただいている。 | | | |

当該指標をはじめ、計画策定時及び中間評価時に、健康づくり道民調査の「身体状況調査」を出典としていた指標(No.5、6、7、15等)については、実測値から自己申告値に切り替えたことにより、数値に乖離が生じているため、比較には適さないと判断。

特定健康診査結果等、より規模の大きなデータを活用することとする。

【例示2】指標 No.32 「適正な量と質の食事をとる者の割合(20歳以上)」

- 食塩摂取量
 - 野菜摂取量
 - 果物摂取量
- 計画策定時及び中間評価時は、食事記録法で行ってきたが、今回調査法を「食事歴法」に変更。
- 今回の調査結果は「参考値」として用い、その旨を明記したうえで、評価対象として、取り扱う。(調査法の詳細は別添のとおり)

【例示3】指標 No.28、36「日常生活における歩数」

- 20～64歳の歩数
 - 65歳以上の歩数
- 計画策定時及び中間評価時は、調査日(平日の1日)の歩数について、歩数計を配布し調査を行っていたが、今回、調査法を「ふだんウォーキングアプリや歩数計を活用している」と回答のあった者の「自己申告値」に変更。
- 今回の調査結果は「参考値」として用い、その旨を明記したうえで、評価対象として取り扱う。

※ 指標 No.27、31「適正体重を維持している者の割合」についても、「実測値」から「自己申告値」に、方法を変更しているため、同様に「参考値」の取り扱いとする。